

病児保育施設の充実により、働きながら子育てができる安心感と利便性が向上

～病児保育における看護師等の常駐要件の明確化～

平成27年

鳥取県、東近江市

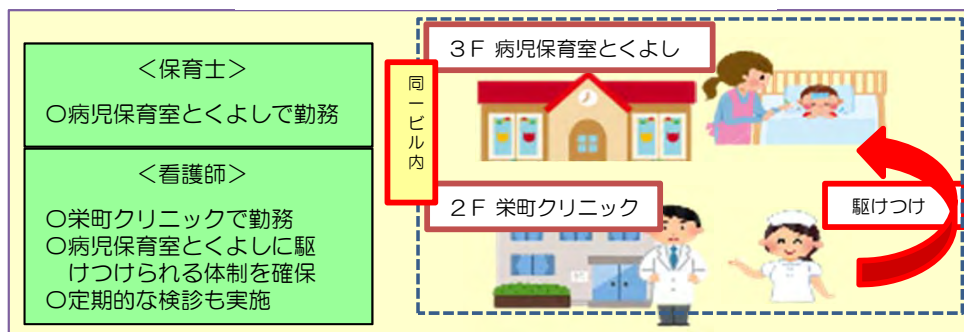
提案によって実現した制度改正等

- 国の補助を受けて病児保育を行う場合、児童概ね10人につき、看護師等1名以上を配置する必要があるが、常時配置すべきかが不明確であった。
- 平成27年に提案が行われ、「看護師等が緊急時に駆けつけられれば、常駐の必要がないこと」が明確化された。

制度改正等を活かした自治体の取組と成果

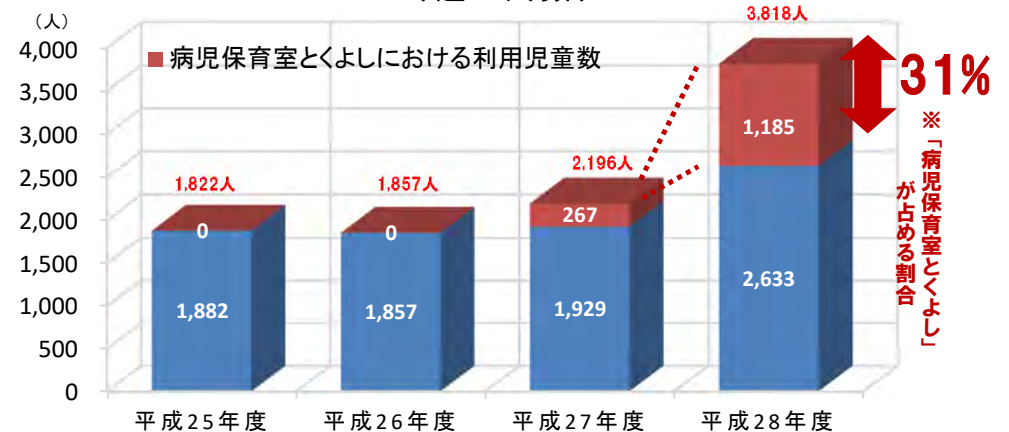
- 平成27年12月、鳥取市に、医療機関併設型の「病児保育室とくよし」が開設。鳥取県東部地域3市町が病児の相互受入れなどの広域連携協定を締結し、「病児保育室とくよし」が地域の病児保育拠点の一つとして機能。
- 平成28年度に鳥取県東部地域で病児保育を利用した児童数は、前年から大きく増加し、3,818人(延べ人数。以下同じ)となっている。そのうち、「病児保育室とくよし」の利用者は、1,185人と全体の3分の1を占めている。
- 利用者からは、共働きで急に仕事が休めない時に「安心して子どもを預けられるので仕事に集中できる」という評価が寄せられている。

「病児保育室とくよし」の運営体制



鳥取県東部地域における病児保育施設の利用状況 (延べ人数)

※病児保育室とくよしは平成27年12月開業



病児保育施設の充実により、働きながら子育てができる安心感と利便性が向上

～病児保育における看護師等の常駐要件の明確化～

平成26年

提案によって実現した制度改革等

瑞穂市(岐阜県)

- 慢性的な保育士不足が発生する中、保育士の配置基準により、保育所には常時二人以上を配置する必要があった。
- 平成26年に提案が行われ、朝・夕など児童が少数となる時間帯においては、保育士2人のうち1人は子育て支援員研修(保育に関する必要な知識を習得するための全国共通の研修)を修了した者等に代替可能となる特例を設けた。

制度改革等を活かした自治体の取組と成果

- 岐阜県瑞穂市では、平成28年度に市として初めて「子育て支援員研修(地域保育コース)」を実施し、研修受講者のうち4名が、翌29年度より「子育て支援員」として保育所で就労を開始(平成29年4月時点)。
- 朝・夕の時間帯は送り迎えをする利用者の出入りが激しく、児童の安全確保のため保育従事者の目が行き届いている必要があり、所定の研修で必要な知識や技術を習得した「子育て支援員」の活用により、保育士の人員不足の解消や負担軽減につながっている。
- 保育所関係者からは、「子育て経験がある方が来てくれて助かっている」、「待機児童問題を抱える他自治体も喜んでいる」という評価が寄せられている。

瑞穂市の人口推移



保育士及び子育て支援員による保育の状況



平成29年度 子育て支援員研修案内

介護事業所の共用の規制の明確化により、事業所のスペースを有効活用へ

～指定小規模多機能型居宅介護の居間及び食堂の共用に関する規制の明確化～

平成28年

提案によって実現した制度改正等

島牧村(北海道)

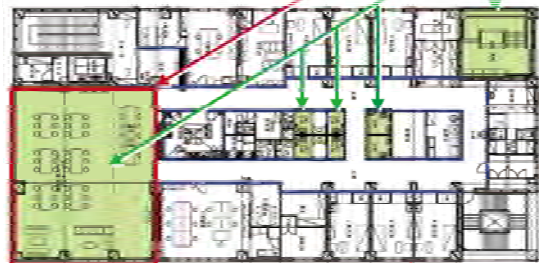
- 指定小規模多機能型居宅介護(デイサービス等)においては、介護サービスの提供に支障がない場合には生活支援・介護予防サービスとのスペースの共用が認められているが、居間及び食堂の共用は認められておらず、利用者の交流が分断されるほか、サービスの集約化を図る上で支障となっていた。
- 平成28年に提案が行われ、事業所が小規模で利用者への介護サービスの提供に支障がない場合は、指定小規模多機能型居宅介護においては、居間及び食堂を共用することを妨げないことが、通知により明確化された。

制度改正等を活かした自治体の取組と成果

- 北海道島牧村では、複数の介護福祉サービスを提供する建物の建設を計画しており、提案の実現により、現在のサービス利用者全員が新たな建物でもサービスを受けることが可能となり、「要介護」「要支援」の違いにより分断されることなく交流が継続され、利用者の利便性維持が図られることとなった。
- スペースの効率的な利用により、必要な介護職員数を抑えて、従来と同様の介護サービスの提供が可能となった。
- 現在のサービス利用者からは、「馴染みの職員・他の利用者との関係が絶たれることがなくなって良かった」と喜びの声が寄せられている。

提案実現により、要介護者と要支援者の
共用が可能となったスペース

現行のデイサービスを
移行して実施



新しい建物の平面図(2F部分)



島牧村小規模多機能型
居宅介護施設(完成図)



総合福祉医療センター及び建設予定地

障害者グループホームと特別養護老人ホームの合築により、多様な住民が暮らせる住環境が改善

～障害者グループホームと特別養護老人ホームを同一敷地内に整備する場合の基準の明確化～

平成28年

提案によって実現した制度改正等

江戸川区(東京都)等

- 江戸川区は高齢者の増加率が高く、特別養護老人ホームの待機者数は700名を超える状況となっている。また、障害者グループホームもあるが、満床状態であることから、区内の限られた土地に、両方の建物を効率的に整備することが課題となっていた。(平成29年10月末日現在)
- 平成28年に提案が行われ、一定の場合には、障害者グループホームと特別養護老人ホームを同一敷地内に設置可能であることが明確化された。

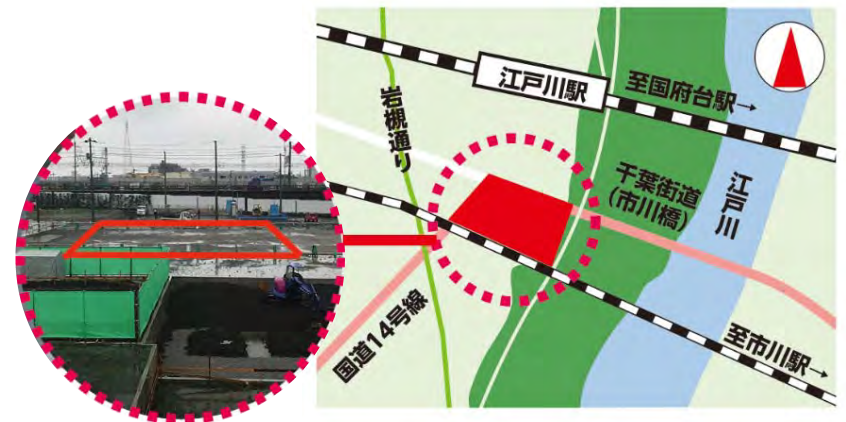
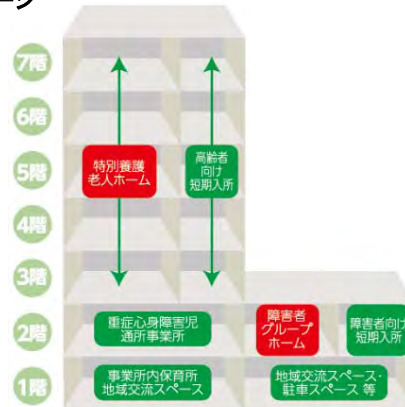
制度改正等を活かした自治体の取組と成果

- 江戸川区では、区有地に障害者や要介護者が入居できる建物を合築により整備する計画を進めており、年齢や障害の有無などに制約を受けることなく、家族と一緒に暮らすことができるなど、それぞれの個性が発揮される共生社会の実現を後押しすることが期待できる。
- 合築による建物の整備は、限られた土地の有効活用と建設コストの低減などにより、通常よりも安い利用料金で入居が可能になることも期待できる。
- 住民の方からは「障害者の将来的な高齢化や障害の重度化などにも、最低限の環境変化で生活が守られることが嬉しい」という評価が寄せられている。

障害者グループホームと特別養護老人ホームなどの合築イメージ



(出典:社会福祉法人章佑会)



地域の実情に応じた工場立地基準の策定により、周辺環境と調和した産業が発展

～工場の緑地面積率などに係る地域準則の策定権限の移譲～

平成27年

提案によって実現した制度改正等

市貝町、那珂川町等

- 従来の工場立地法では、都道府県が地域準則を策定しない限り、全国一律の基準(緑地面積率等)が適用されていた。また、市は独自に地域準則を制定できるが、町村は都道府県に制定権限があった。
- 平成27年に提案が行われ、町村においても市と同様の条例制定権を得られるよう、緑地面積率等に係る地域準則を制定する権限等を都道府県から町村に移譲された。

制度改正等を活かした自治体の取組と成果

- 市貝町及び那珂川町は、平成29年4月に緑地面積率等に係る独自の地域準則条例を施行し、町内企業の工場敷地内の設備投資の検討が進んでいる。
- 規制緩和されたことで地元企業が活動しやすくなり、工場増設による雇用の増加など、町全体としても、企業を核として活性化が図られることが期待できる。
- 企業関係者からは、「今後の事業活動を円滑に進めるためにも、地域にフィットした新基準の策定に感謝している」という評価が寄せられている。



町の条例を適用した市貝町（栃木県）の工場

市貝町(栃木県)における緑地面積率等に係る地域準則

条例制定前(国の基準)

区域	工業専用地域 (赤羽工業団地及び赤羽西部工業団地)
うち緑地	20%以上
環境施設 (緑地を含む)	25%以上



条例制定後

5%以上
10%以上

地域が主体となった農地転用手続の迅速化により、住民の利便性が向上

～農地転用許可権限の移譲～

平成26年

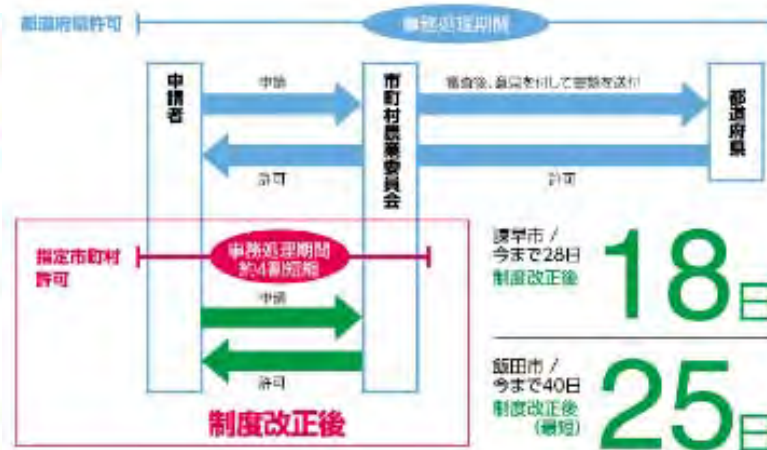
提案によって実現した制度改正等

諫早市(長崎県)、飯田市(長野県)

- 従来は、農地転用に当たり、農地面積2～4haは国との協議を経た上で都道府県の許可が、また、4ha超は国の許可が必要とされていた。
- 平成26年に提案が行われ、農地転用許可に係る事務・権限は、農地を確保しつつ、地域の実情に応じた主体的な土地利用を行う観点から、地方に移譲等がなされた。
 - ・2～4haの農地転用に係る国との協議は廃止
 - ・4ha超の農地転用に係る権限は、国との協議を付した上で、都道府県(下記の指定市町村にあっては指定市町村)に移譲
 - ・農地転用許可制度を適正に運用し、優良農地を確保する目標を立てるなどの要件を満たしている農林水産大臣が指定する市町村に都道府県と同様の権限を移譲

制度改正等を活かした自治体の取組と成果

- 農地転用に係る事務処理期間として、従来、諫早市は28日、飯田市は40日を要していた。指定市町村となり、許可権者が市長となったことで、農地転用許可申請における市から県への進達(意見を付して書類を送付)や都道府県の審査が不要となった。
- これにより、事務処理期間が約4割短縮されるなど、申請者にとっての利便性が向上し、申請を代行した行政書士等からは「早く許可が下りるようになり、ありがたい」など好意的な評価がなされている。



農地転用許可権限等に係る指定市町村の指定状況(平成30年3月末現在)

市町村数 49市町

都道府県数 21道県